

平成 29 年コウナゴ曳網調査結果 No.1 (平成 29 年 2 月 2 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 調査船「拓水」により 1 月 30 日にいわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N, 140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 13.9～16.4℃でした(図 1)。
- ・ 丸稚ネットで 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 5 分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴは採捕できませんでした。
- ・ 近年の 1 月のいわき海域における定点当たりの採捕数は、1 尾(H25)、3 尾(H26)、0 尾(H28)でした(図 2)。

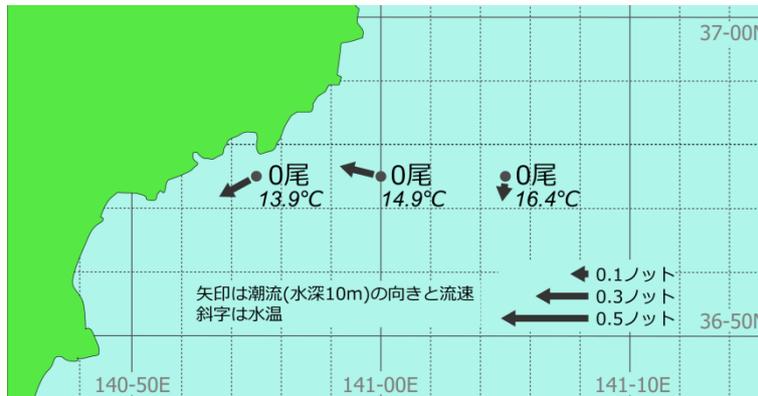


図 1 コウナゴ採捕尾数(いわき海域)

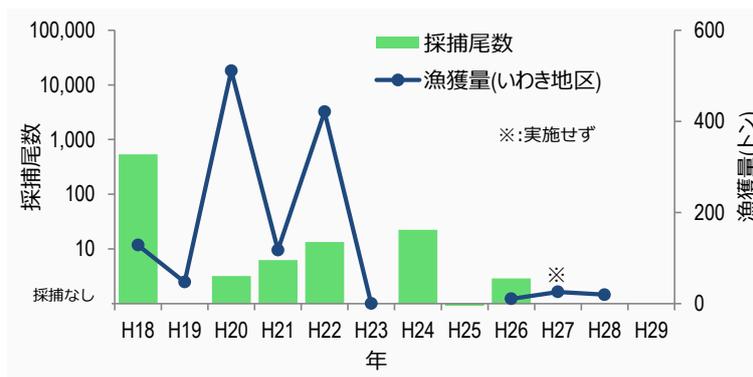


図 2 定点当たり採捕尾数の年推移
(いわき海域-1 月丸稚ネット)及び漁獲量

水産試験場ホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380a/>

【平成 29 年のコウナゴ曳網調査】

水産試験場では、漁業調査指導船「拓水」による、丸稚ネット及び中層トロール網を用いたコウナゴ曳網調査を実施します。

調査海域: いわき、相馬海域

調査時期: 1～3月

調査機材: 丸稚ネット(図 4:1月)、中層トロール網(図 5:2～3月)

調査定点: 各線とも水深 10-20m 深を起点とし、距岸 12 マイル沖まで(表 1)。

曳網船速、時間: 1.5kt、5 分間(丸稚ネット)、1.5kt、10 分間(中層トロール網)

曳網水深: 10m(一番灘の定点は表層)

中層トロールワープ長: 30m(一番灘の定点は 10m):

中層トロール網口: 網口高さ約 5m×網口幅約 5m

調査記録項目: 水温、採捕尾数、全長組成(50-100 尾)

調査結果については水産試験場ホームページ、FAX で広報いたします。

表 1 調査定点

定線 \ 定点	1	2	3	4
鵜ノ尾埼 37-48N (相馬海域) およその水深	141-00E 12m	141-05E 37m	141-10E 39m	141-15E 57m
小名浜 36-55N (いわき海域) およその水深	140-55E 20m	141-00E 62m	141-05E 125m	141-10E 139m

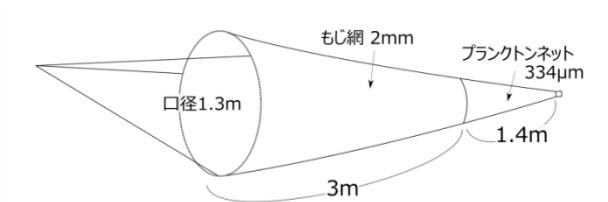


図 3 丸稚ネット模式図

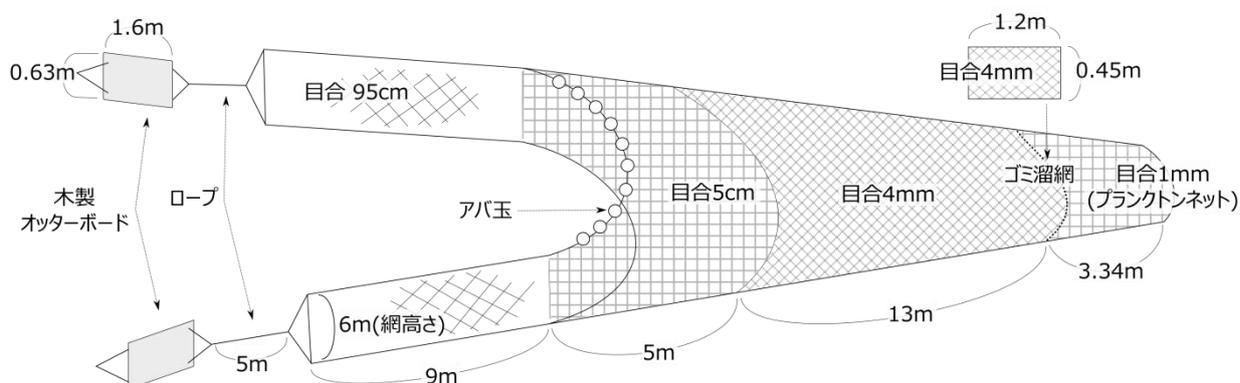


図 4 中層トロール網模式図

平成 29 年コウナゴ曳網調査結果 No.2 (平成 29 年 2 月 9 日)

福島県水産試験場

調査方法

- 調査船「拓水」により 2 月 8 日にいわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- 調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 13.5～14.3℃でした(図 1)。
- 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- コウナゴは採捕できませんでした(カタクチイワシシラスも採捕できませんでした)。
- 近年の 2 月前半のいわき海域における定点当たりの採捕数は、59 尾(H26)、10 尾(H27)、5 尾(H28)でした(図 2)。

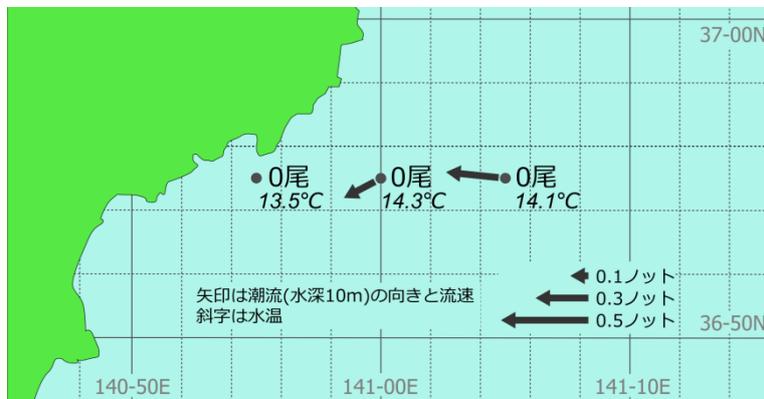


図 1 コウナゴ採捕尾数(いわき海域)

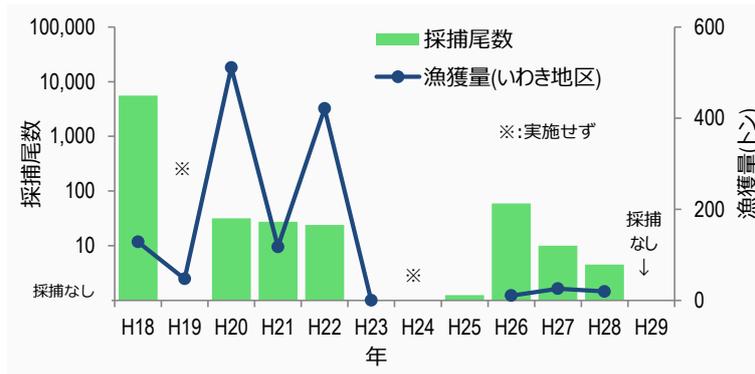


図 2 定点当たり採捕尾数の年推移
(いわき海域-2 月前半中層トロール)及び漁期中の漁獲量

水産試験場ホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380a/>

平成 29 年コウナゴ漁況の見通し

福島県水産試験場

漁獲量予測

平成 29 年の県全体のコウナゴ漁況は、(震災前と同様の操業が行われると仮定した場合)「中漁 (1,250 トン以上 2,750 トン未満)」と予測されます。

予測の根拠

震災前 15 年のデータを用いた解析の結果、漁獲量の変動に関する指標として以下の 3 データが抽出されました。

漁獲量とこれらの指標との関係式(重回帰式)を作成し、この式に今年(平成 29 年)のデータを当てはめることで漁獲量を予測しています。この式による豊・中・不漁の的中率は、60~70%です(豊漁 2,750 トン以上、不漁 1,250 トン未満)。

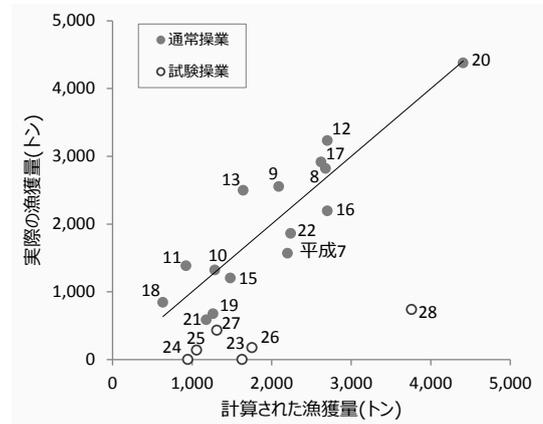


図 1 コウナゴ漁獲量の計算値と実際の値

3 つのデータ

12 月の新地発電所取水水温 ※注	…親魚(メロウド)産卵期の水温を想定	→いずれも数値が高いほど豊漁
2 月の相馬沖クロロフィル a 量	…ふ化・摂餌期の植物プランクトン量を想定	
1 月のコウナゴ漁期前調査による採集尾数	…仔魚の発生量の目安を想定	

※注) 新地発電所取水水温のデータは、相馬共同火力発電株式会社の御厚意により利用させていただいたものです。

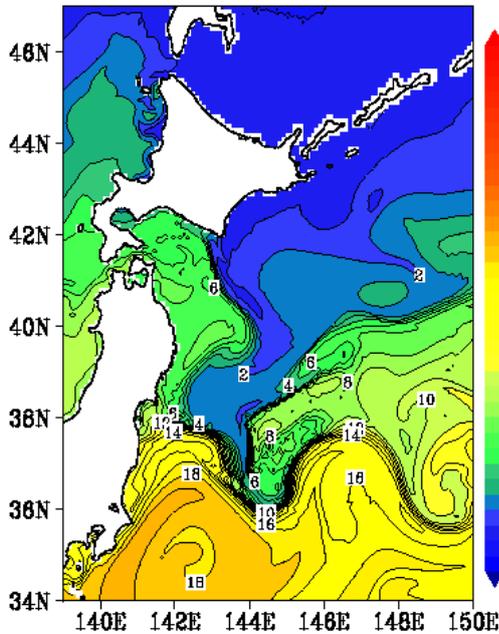


図 2-1 水温予測図(H29.3.15-10m 深)*

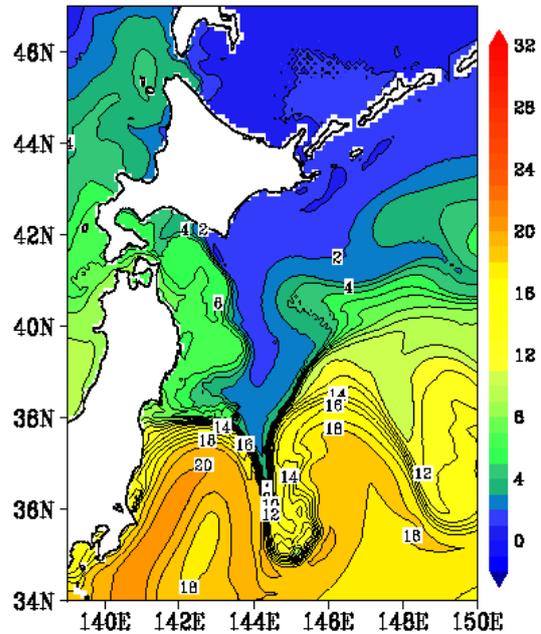


図 2-2 水温予測図(H29.4.15-10m 深)*

*:国立研究開発法人水産研究・教育機構が運営する「太平洋および我が国周辺の海況予測システム(FRA-ROMS)」(<http://fm.dc.affrc.go.jp/fra-roms/>)より引用

平成 29 年コウナゴ曳網調査結果 No.3 (平成 29 年 2 月 27 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 2 月 16 日に相馬、20 日にいわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ いわき海域の調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 12.2～13.1℃でした(図 1-1)。
- ・ 相馬海域の調査点は 37-48N、141-00E～141-15E の 4 点です。表面水温は 8.1～10.9℃でした(図 1-2)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ いわき海域における定点当たりの採捕数は平均 3 尾で、全長 12.3～15.9mm、平均 13.8mm でした(図 2-1)。
- ・ 相馬海域における定点当たりの採捕数は平均 7,147 尾で、全長 9.0～26.6mm、平均 15.6mm でした(図 2-2)。
- ・ 近年の 2 月後半のいわき海域における定点当たりの採捕数は、2,654 尾(H26)、382 尾(H27)、60 尾(H28)でした(図 3-1)。
- ・ 近年の 2 月後半の相馬海域における定点当たりの採捕数は、740 尾(H25)、1,932 尾(H26)、431 尾(H28)でした(図 3-2)。

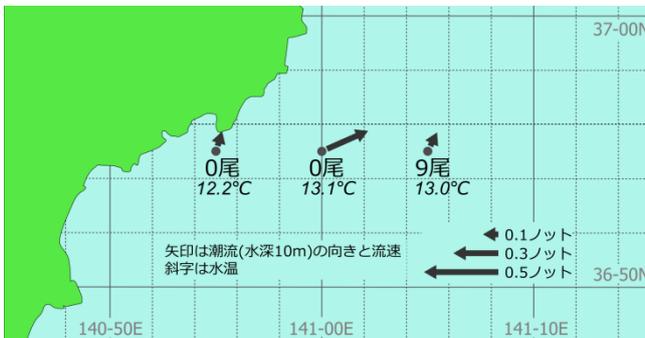


図 1-1 コウナゴ採捕尾数(いわき海域)

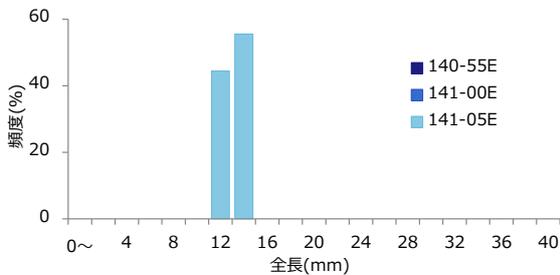


図 2-1 コウナゴ全長組成(いわき海域)

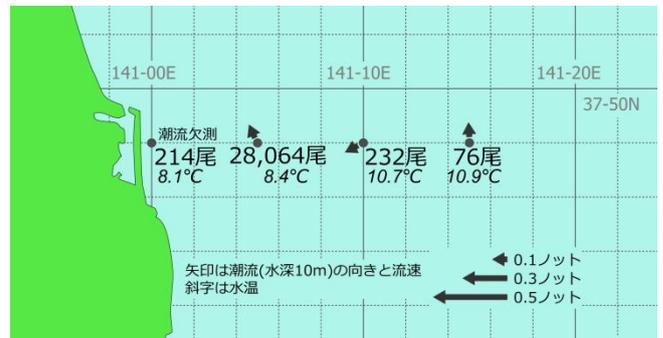


図 1-2 コウナゴ採捕尾数(相馬海域)

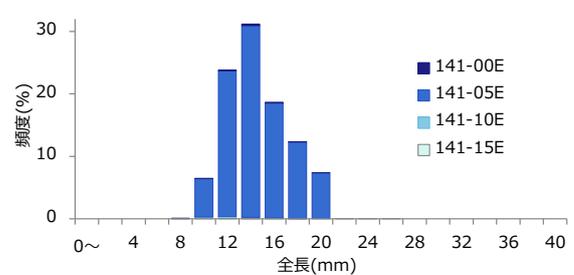


図 2-2 コウナゴ全長組成(相馬海域)

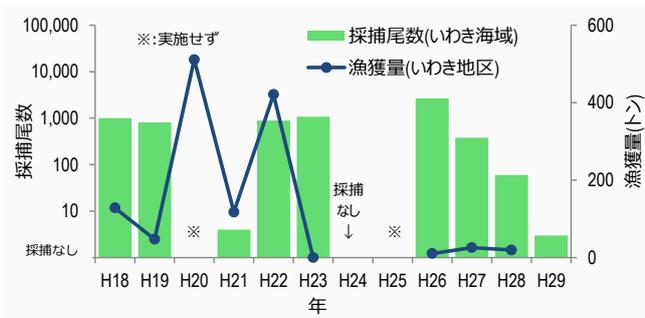


図 3-1 定点当たり採捕尾数の年推移(いわき海域-2 月後半中層トロール)及び漁獲量



図 3-2 定点当たり採捕尾数の年推移(相馬海域-2 月後半中層トロール)及び漁獲量

水産試験場ホームページにてカラーの画像を掲載しています
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380a/>

平成 29 年コウナゴ曳網調査結果 No.4 (平成 29 年 3 月 14 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 3 月 10 日に相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は 37-48N、141-00E～141-15E の 4 点です。表面水温は 8.3～8.9℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ 定点当たりの採捕数は平均 127 尾で、全長 11.1～31.6mm、平均 19.3mm でした(図 2)。
- ・ 近年の 3 月前半の相馬海域における定点当たりの採捕数は、1,635 尾(H25)、2,912 尾(H27)、896 尾(H28) でした(図 3)。

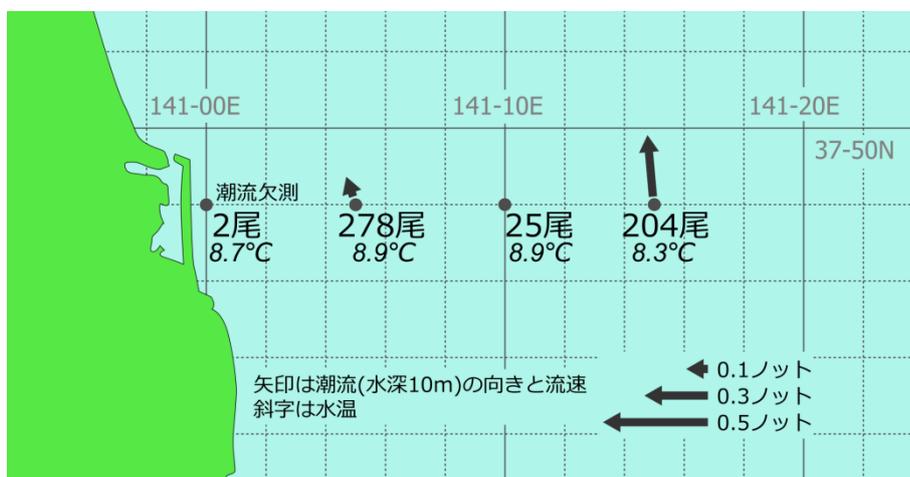


図 1 コウナゴ採捕尾数(相馬海域)

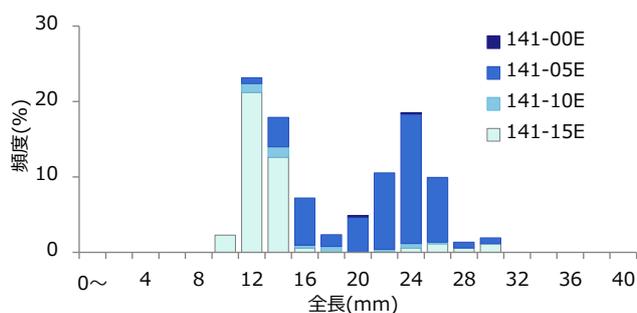


図 2 コウナゴ全長組成(相馬海域)



図 3 定点当たり採捕尾数の年推移 (相馬海域-3 月前半、中層トロール網)及び漁獲量*

水産試験場ホームページにてカラーの画像を掲載しています
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380a/>

平成 29 年コウナゴ曳網調査結果 No.5 (平成 29 年 3 月 29 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 3 月 24 日にいわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N、140-55E～141-10E の 4 点です。表面水温は 8.3～8.8℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ 定点当たりの採捕数は平均 35 尾で、全長 11.9～24.1mm、平均 16.3mm でした(図 2)。
- ・ 近年の 3 月後半のいわき海域における定点当たりの採捕数は 381 尾(H22)、2,766 尾(H24)、522 尾(H27) でした(図 3)。
- ・ カタクチイワシシラスは入網しませんでした。

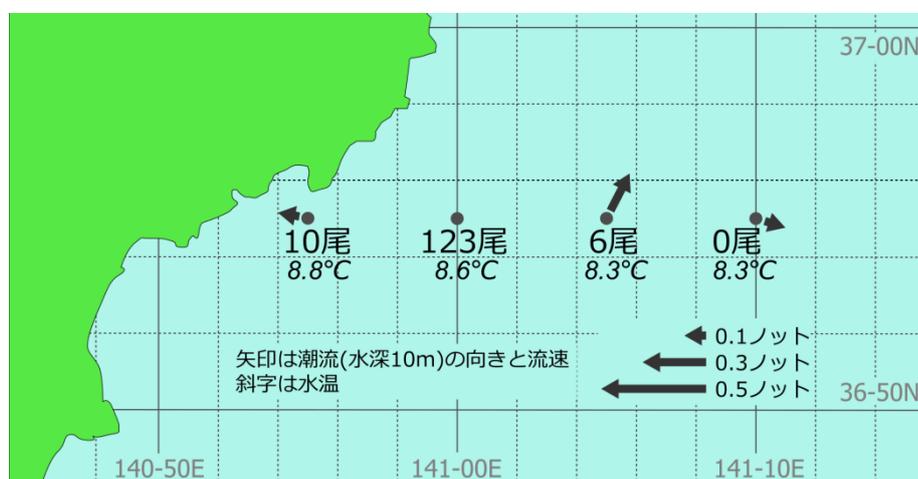


図 1 コウナゴ採捕尾数(いわき海域)

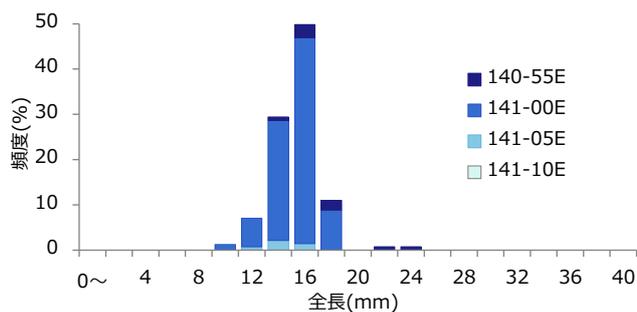


図 2 コウナゴ全長組成(いわき海域)

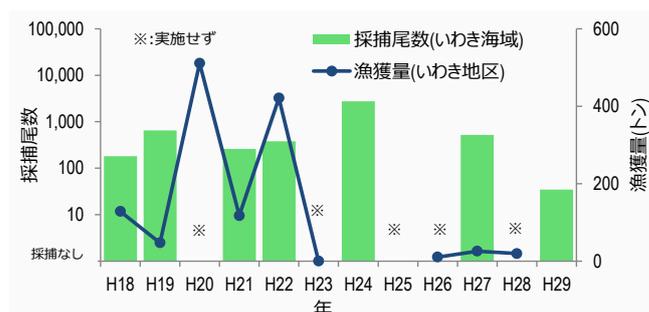


図 3 定点当たり採捕尾数の年推移 (いわき海域-3月後半、中層トロール網)及び漁獲量*